

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ミクロ経済学		(TDB132)
講義名（コード）	ミクロ経済学		(TDB132)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	デジタルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	忍足祐之	時間数	30
成績評価教員	忍足祐之	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	選択必修
実務者教員特記欄	本講義は、実務者教員による授業である。	授業形態	講義・質疑応答

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	①経済学(けいざいがく)を身近(みじか)なことから考え(かんがえ)、社会人(しゃかいじん)/進学(しんがく)のいづれにも必要(ひつよう)な知識(ちしき)を体系的(たいけいてき)に習得(しゅうとく)する Learn necessary knowledge about economics by thinking about the study as a daily-life issue. ②経済(けいざい)の動き(うごき)がビジネスや自分(じぶん)の生活(せいかつ)にどう影響(えいきょう)するかを理解(りかい)する Understand how economy affects your business and life.
全体の内容と概要	毎回(まいかい)双方向(そうほうこう)の質疑(しつぎ)応答(おうとう)と生活(せいかつ)の中(なか)での具体例(ぐたいれい)を挙げながら(あげながら)進める(すすめる) Conduct each class through mutual Q&A, raising daily-life example.
授業時間外の学修	アルバイトや生活(せいかつ)の中(なか)で、経済(けいざい)の問題(もんだい)を常に(つねに)考え(かんがえ)る Always think about economics issues in your side-business and daily life.
履修上の注意事項等	・分からないことは完全(かんぜん)に分かる(わかる)まで質問(しつもん)する Should ask questions until you understand them completely enough to answer the similar questions raised by others

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション この授業の意義(いぎ) /進め方(すすめかた)を理解(りかい)する Orientation:Understand meaning/procedure of this class	経済学(けいざいがく)とは何か?我々のビジネスや生活にどう関(かか)わっているか? What is economics?How is our life effected by economics? 例としてコロナウィルスの経済への影響がデジタルビジネスにどう影響したか?を考える Take an example of How COVID 19 affects digital business. M97
2	市場(しじょう) とは何か?を理解する Understand what a market is.	金融市場、実物市場、市場を形成するもの Financial/real market, what constitute a market?
3	市場価格(しじょうかかく)はどのように決まるのか?を理解する How is a market price decided?	需要と供給(じゅようときょうきゅう)、生産者と消費者(せいさんしゃとしょうひしゃ) Demand and supply, producer and consumer
4	独占禁止法(どくせんきんしほう)の意義(いぎ)と範囲(はんい)を理解する①	market mechanism が成り立つ/成り立たない場合 Cases where market mechanism can govern or not
5	同Ditto②	値上げ(ねあげ)/値下げはなぜ起こるか? Why does price hike/down occur?
6	同Ditto③	価格と利益(かかくとりえき)、価格は誰が決めるか? Price and profit. Who decides a price?
7	市場の構造(こうぞう)を理解する Understand market mechanism①	企業が値下げしても売上げを増やすのはなぜか? Why does a company want to increase sales revenue by decreasing price?
8	市場の構造(こうぞう)を理解する Understand market mechanism②	売れている商品は増産(ぞうさん)すべきか? Should a company increse production of well-selling products?
9	市場の構造(こうぞう)を理解する Understand market mechanism③	企業の新製品開発(しんせいひんかいはつ)はなぜ必要か? Why is it necessary for a company to develop a new product?
10	IT 業界はなぜ儲かる(もうかる)か?を理解する Why IT industry can generate profits?	ヒトhuman resources、モノasset、カネmoney、情報(じょうほう) information
11	経済のインセンティブの構造を理解する Understand economic incentive	なぜ売るか? なぜ買うか? Why does a company sell/Why does a company buy?
12	埋没費用(まいぼつひよう)を理解する Understand "sunk cost"	考えても仕方が無い終わった費用(ひよう) Costs which were paid and are non-returnable
13	比較優位(ひかくゆうい)を理解する Understand comparative superiority	得意(とくい)なもの生産・販売(せいさんはんばい)に特化(とっか)する
14	前期のまとめ Summary of the content in 1st term	
15	前期試験(ぜんきしけん) 1st term exam	

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	会社に入る前に知っておきたい経済学 Economics you should know before joining business
参考文献・資料等	新聞記事等(しんぶんきじとう)をその都度(つど)準備(じゅんび)する Prepare economics-related articles as required
備考	・本教員は、外資系企業にて、営業や人事その他の業務を歴任した。その経験を活かして、企業コンサルティング、学校等の高等教育機関にて指導を展開している。